

本田あきこ オレンジ日記



全世代型社会保障検討会議（中間報告）

自民党女性局次長・厚生関係団体委員会副委員長
参議院議員・薬剤師 本田顕子

政府の「全世代型社会保障検討会議」（議長 安倍晋三 内閣総理大臣）（以下、検討会議とします。）は、少子高齢化と同時にライフスタイルが多様となる中で、誰もが安心できる社会保障制度について、昨年9月から検討を開始し、12月19日に中間報告をまとめて公表しました。本検討会議のメンバーに医療関係者が含まれていなかったため、10月に自民党の「人生100年時代戦略本部」が医療関係団体よりヒアリングを行うとともに、11月8日の検討会議で三師会が意見陳述を行いました。人生100年時代戦略本部の会議には、私も出席して議論をフォローしました。

日本薬剤師会等は、高齢者の窓口負担の増加、外来受診時の定額負担の導入、市販品類似薬の給付範囲の見直し・給付率の変更等について、国民皆保険の根幹を揺るがす等として反対を表明していました。

12月19日の中間報告は、12月17日の人生100年時代戦略本部による政府に対する提言等を踏まえてまとめられたものです。

中間報告では、①後期高齢者であっても一定所得以上の方については、その医療費の窓口負担割合を2割とし、それ以外の方については1割とする、②選定療養である現行の他の医療機関からの文書による紹介がない患者の大病院外来初診・再診時の定額負担の仕組みを大幅に拡充するとされており、すべての高齢者の窓口負担の増加とはならず、また、外来受診時の定額負担の導入は今後の検討課題となりました。更に、市販品類似薬については一切記載されていませんでした。

今後検討会議は、本年夏の最終報告に向けて議論を進めることとなりますが、これからも自民党の関係会合に参加し、今後の動きをしっかりとフォローしてまいります。



本田あきこ



メルマガ登録



本田あきこの部屋



@89314honda